

# 国語科複式指導略案

東田明治

本時の目標

- ◎ マコちゃんの急いでいる様子をイメージ化する。
- ・修飾語の働き      ・事実と想像の区別

本時の目標

- ◎ 母にとっての海と父の海のイメージ化
- ・情景描写

展開

5 年		直間	6 年	
複式指導上の留意点	学習活動（留意点）	直間	学習活動（留意点）	複式指導上の留意点
<p>・課題提示は5分以内に素早く</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「マコちゃんの様子が分かる言葉や文に全部線を入れて、その中から3つワークシートに書きこみ、分かったことや思ったことを書いてください。」</p> </div> <p>&lt;学習訓練&gt; ・音読は国語科係に</p> <p>&lt;学習訓練&gt; ・各児童は、課題を把握していないとひとり学習に入れない。学習の一定のパターン化が必要である。 この場合は、「まこちゃんの様子が分かる言葉に全部線を入れる」「3つ選ぶ」「分かったこと思ったことを書く」の3つはパターン化されたもの或いはこれからパターン化しようとする学習内容</p> <p>&lt;学習訓練&gt; ・国語科係の活用できれば黒板の掲示文に線を入れさせる。</p> <p>・教師の出番</p> <p>・イメージを深めたり広げたりする発問</p> <p>・可能な場合は、文法・語彙の拡充と連動したイメージを深める発問を考えておく</p>	<p><b>1. 課題をつかむ（5分）</b></p> <p>・課題提示</p> <p>・音読</p> <p><b>2. ひとり勉強（10分）</b></p> <p>・教科書に線を入れる</p> <p>・3つ選ぶ（情報の選択力）</p> <p>・分かったこと思ったことを書く（解釈の力）</p> <p><b>3. 発表（10分）</b></p> <p>・ワークシートの課題1について発表させる</p> <p><b>4. 深める・まとめる（10分）</b></p> <p>・動詞とその修飾語からイメージを深める</p> <p>・事実と想像を区別する</p> <p>・まとめを書かせる（短文でよい。論述の力の養成）</p>	直間	<p><b>3. 発表（10分）</b></p> <p>・音読</p> <p>・発表</p> <p><b>4. 深める・まとめる（10分）</b></p> <p>「母はいつから太一がいずれ父が死んだ瀬にもぐると言い出すと思っていたのかい」</p> <p>「母の想像する太一の心の中」</p> <p>「母の悲しみ」</p> <p>◎「父の海の描写」</p> <p>文学作品における情景描写の意味</p> <p><b>1. 課題をつかむ（5分）</b></p> <p>・課題提示</p> <p>・音読</p> <p><b>2. ひとり勉強（10分）</b></p> <p>・教科書に線を入れる</p> <p>・3つ選ぶ（情報の選択力）</p> <p>・分かったこと思ったことを書く（解釈の力）</p>	<p>&lt;学習訓練&gt; ・音読は国語科係の指示</p> <p>&lt;学習訓練&gt; ・国語係の活用 ・黒板の掲示文に線を入れさせる ・分かったこと・思ったことを発表させる。</p> <p>・教師の出番</p> <p>・できるだけ子供の発表内容と関連付け深めたいが、予想される子供の考えをもとに深める発問を用意しておく。</p> <p>5年の内容と同じ</p> <p>&lt;学習訓練&gt; ・音読は国語科係の指示</p> <p>&lt;学習訓練&gt; ・国語係より、学習の手順について説明させる。</p>